

令和6年度

座間市姉妹都市中・高校生派遣交流事業

事業報告書

座間市



	頁
1. 座間市長 挨拶・・・・・・・・・・・・・・・・	1
2. 座間市スマーナ交流委員会委員長 挨拶・・・・・・・・	2
3. 行程表・・・・・・・・・・・・・・・・	3
4. 私たちは国際親善大使です・・・・・・・・	6
5. 研修スケジュール・・・・・・・・	7
6. 国際親善大使 報告書・・・・・・・・	8
7. Photo Album・・・・・・・・	37



ご挨拶



座間市長 佐藤 弥斗

Mayor of Zama City

Mito Sato

座間市国際親善大使の皆さんが元気にたくましく日本に帰ってきたことを嬉しく思います。

米国テネシー州スマーナ市と平成3年11月に姉妹都市協定を締結したことを契機に、おおよそ3年ごとに実施してきたスマーナ市への派遣は、新型コロナウイルス感染症の影響により、前回から7年ぶり、通算7回目を無事に行うことができました。

平成9年から「派遣・受入・休止」のサイクルで実施していたスマーナ市との姉妹都市中・高校生交流事業は、平成28年から、両市の青少年の将来に資する事業として更に発展させていくために、教育委員会としての英語指導や生徒指導の下、1年ごとに「研修・派遣・受入」を行う3年ワンサイクルとし、この事業に参加する座間市の中・高校生に「座間市国際親善大使」の冠を付け、座間市民の代表としての使命遂行のため、約1年間の充実した研修を実施いたしました。

国際親善大使は、座間市のことをスマーナ市の人へ伝え、スマーナ市のことを座間市の人へ伝える両市の橋渡しとなる存在です。この事業をとおして得た交流をきっかけに、相互理解を深め、友好関係を築きながら、未来へつないでいく役割を担っていただきたいと思います。

派遣期間中に開催した「座間フェア」では、座間市の各スポットをパズル形式で紹介する「座間パズル」、大使の特技披露や日本文化紹介を行い、会場にいたスマーナ市の全ての方々が、温かく、そして楽しんで「座間フェア」に参加してくださったとのことで、大使は「スマーナ市の人に座間市のことを伝える」という使命を立派に果たしました。私自身、派遣前の事前発表の場で「座間フェア」を見学し、各グループの趣向を凝らした内容に大変感心いたしました。

今回、大使は、現地の家庭にホームステイをする中で、スマーナ市の人々の温かさに沢山触れてきたことでしょう。スマーナ市の素晴らしさを座間市の皆様に伝えていただくとともに、次の世代にもその経験を共有していくことで、両市の友好が続いていくものと思います。

令和2年度に新たに小学校3、4年生から英語が必修科目となり、日本の子ども達は以前よりも早い段階から英語に親しんでいます。グローバルに物や人、情報が繋がっている現代において、国際語である英語の習得は増々重要になってきているわけですが、大使の皆さんには、ぜひ英語力に加え、国際的な視野を持った、本市の次世代を担う人材として、大きく羽ばたいていって欲しいと願っています。



ご挨拶



座間市スマーナ交流委員会委員長

木村 功

Zama Smyrna International Exchange Committee

Chairperson Isao Kimura

米国テネシー州スマーナ市と座間市との姉妹都市中・高校生交流事業は、30年以上も続く歴史ある事業です。今までにスマーナ市への派遣は7回、受入れは8回行ってまいりました。

平成27年に座間市スマーナ交流委員会が組織され、平成29年に、国際親善大使1期生がスマーナ市に派遣された際は、委員会を代表して随行しましたが、今回は断腸の思いで随行を断念し、日本で皆さんのご活躍と安全を祈っておりました。

国際親善大使は、約1年間の研修を経てスマーナ市に派遣されます。研修は、英会話、スマーナ市で開催する「座間フェア」の準備、スマーナ市についての学習、国際交流イベントでのボランティア活動など多岐に渡ります。学校の授業や部活、塾などもある中で、大使の活動と両立してきた大使には感心します。このような濃い1年間を共に過ごした大使達は、大使同士の絆も深まり、スマーナ市に行った際も、お互いに良く助け合ったことでしょう。

大使の活動をとおして、一つの壁を超えるたびに自信をつけるのでしょう。大使達に会うたびに堂々とした顔つきになっていっていることに驚きます。今回、スマーナ市への派遣に際して、初めて海外に行く人、初めてホームステイをする人がいたと聞いています。

しかし、そんな初めてづくしで不安な状況下で感じた人々の温かさ、そして、2週間の派遣をやり切った自分に対する自信というのは何にも代えがたい財産だと思います。大使達は日本に帰る前日のフェアウェルパーティー、そして帰国当日の朝、ホストファミリーと離れることを悲しんで号泣していたそうです。その涙が何よりも、彼らが幸福な時間をスマーナ市で過ごしたことを示していると思います。

私は、この事業に当初から携わっておりますので、30年以上経った今でも、スマーナ市の人々と変わらぬ友情と交流が続いている事を嬉しく思います。

この事業は本市に住む青少年たちにとって大いなる成長の機会となります。現在、市内小・中学校のご理解とご協力を得て、市民の皆さんの認知度も向上も図られておりますが、一人でも多くの皆さんにこの事業の素晴らしさが届き、事業が一層発展することを願っております。



行 程 表

日程	曜日	時間	行程	備考
7月30日	火	13:30	座間市役所集合	
		14:00	座間市役所出発	
		15:15頃	羽田空港到着 第3ターミナル	
		18:15	羽田空港出発 AA176便	
		国際日付変更線通過		
		16:15	ダラス空港到着 乗り継ぎ	
		19:52	ダラス空港出発 AA282便	
		21:45	ナッシュビル空港到着	
			ナッシュビルに宿泊	
7月31日	水	11:00	ホテル出発	
		11:30	州立100周年記念公園、パルテノン神殿レプリカ	
		12:00	国立アフリカ系アメリカ人音楽博物館	
		13:00	ハードロックカフェ(昼食)	
		14:00	ブロードウェイ散策	
		14:30	ダウンタウンからオーブリーランドホテルへ移動	
		15:00	オーブリーランドホテル (屋内植物園散策)	
		15:45頃	スマーナへ出発	
		17:00	イベントセンター到着	
		17:30	スマーナ生徒と家族がイベントセンター到着	
		18:00	ウェルカムレセプション	
		20:00	レセプション終了 各自ホストファミリーの家へ	
		8月1日	木	8:30
9:00-10:30	グループ1はテイラーファームズへ			
10:00-11:00	グループ2はサムデビスホームへ			
11:00-12:00	グループ1はサムデビスホームへ			
11:30-13:00	グループ2はテイラーファームズへ			
13:30	プリントショップ(昼食)			
14:30	ザマパーク散策とアイスクリーム屋さんへ			
15:30	スマーナデポ到着			
PM	座間生徒はホストファミリーに日本食をつくる(オプション。別日でも可)			

8月2日	金	6:30	イベントセンター集合	EST(EDT) チャタヌーガは東部時間になる ため、スマーナよりも1時間進 んでいる。
		10:00EST	チャタヌーガ水族館ツアー	
		12:00EST	IMAX シアター	
		12:30EST	昼食	
		14:30EST	チャタヌーガ出発	
		15:30	イベントセンター到着	
		PM	フリータイム	
8月3日	土		ホストファミリーと過ごす	
8月4日	日		ホストファミリーと過ごす	
8月5日	月	8:30	イベントセンター集合	
		10:00-12:00	ミュージシャン殿堂博物館	
		12:30-13:30	ファーマーズマーケット(昼食)	
		13:30-14:30	バイセンテニアルモール州立公園ツアー	
		15:30	イベントセンター到着	
8月6日	火	8:00	市役所集合	
		8:15-9:00	市役所ツアー	
		9:00-10:00	座間フェア準備	
		9:45-10:00	日産ツアー 歓迎の挨拶	
		10:00-11:30	日産ツアー	
		11:30-12:30	TCAT(昼食)	
		12:30-14:00	座間フェア	
		14:15-15:00	消防署ツアー	
		15:15	市役所に戻る	
		16:00	市役所を出発して野球の試合へ	マイナーリーグの野球チーム Nashville Sounds の試合観戦
		18:35-21:15	試合観戦	
		22:00	市役所到着	
8月7日	水	AM	学校2時間デー(スマーナ生徒のみ)	
		10:00	イベントセンター集合	
		11:00-14:15	ジェネラルジャクソンクルーズ	
		14:15-15:30	休憩	
		15:30-16:30	オープリーツアー	バックステージツアー
		16:30-19:00	オープリーミルズで買い物、夕食	
		20:00	イベントセンター到着	

8月8日	木		学校体験	
		18:00-20:00	SOACプール	
8月9日	金		学校体験	
		18:00-21:00	随行員のホストファミリー宅で屋外での夕食	
8月10日	土	AM	フリー	
		14:00	イベントセンター集合	
		14:15-15:00	フェアウェルパーティー準備	
		15:00-16:00	ジェフ・クスメモリアル	
		16:00-18:00	フェアウェルパーティー	
		18:00	バーベキューフェスティバル（オプション）	
8月11日	日	4:00	イベントセンター集合	
		4:30	イベントセンター出発	
		5:10頃	ナッシュビル空港到着	
		7:10	ナッシュビル空港出発 AA2583	
		9:12	ダラス空港到着 乗り継ぎ	
		12:45	ダラス空港出発 AA175	
国際日付変更線通過				
8月12日	月祝	15:55	羽田空港到着	
		17:00頃	羽田空港出発	
		18:00頃	座間市役所到着	



私たちは国際親善大使です

We are International Goodwill Ambassadors.



国際親善大使ってどんな人？

What is an international goodwill ambassador?

★スマーナ市の人に自分や座間市のいいところをどんどん紹介しようとする人

A person who eagerly introduces oneself and the best things about Zama to the people of Smyrna

★スマーナ市のことをもっと座間市の人に紹介したいと思う人

A person who eagerly introduces Smyrna to the people of Zama

★言葉・文化の壁があっても頑張って伝えようとトライできる人

A person who tries to communicate with people from other countries although there are language and cultural barriers

★困っている人に進んで手を差し伸べられる人

A person who can reach out to those in need

国際親善大使ってどんな人？

What is an international goodwill ambassador?

スマーナ市と座間市は、1991年に姉妹都市になりました。1997年から中高生を互いにホームステイさせる交流事業が行われ、スマーナ市から座間市へ8回受け入れ、座間市からスマーナ市へ7回派遣をしてきました。来年は9回目の受け入れです。今後も国際親善大使として、両市の懸け橋になるよう様々な活動をしていきます。

Smyrna and Zama became sister cities in 1991, and we have conducted student exchange program since 1997. Smyrna has sent their students to Zama 8 times, and Zama has sent their students to Smyrna 7 times. This will be the 9th time acceptance from Smyrna next year. As international goodwill ambassadors, Zama students will participate in various activities to serve to be a bridge between the two cities.

令和5年度～6年度 研修スケジュール

年	日程	研修名	内容
令和5年度	4月3日（月） ～5月10日（水）	国際親善大使募集・受付	
	5月13日（土）	全体説明会	事業説明、選考案内など
	5月20日（土）	1次選考	英語面接、日本語面接
	6月11日（日）	2次選考	野外グループ活動
	7月1日（土）	任命式	任命証書の授与など
	8月11日（金）	研修①	ひまわりまつり見学
	9月3日（日）	研修②	座間市スポット巡り
	10月8日（日）	研修③	座間フェア準備、英会話など
	11月5日（日）	研修④	ALTと座間フェアの発表練習、 ALTと英語アクティビティ
	12月3日（日）	研修⑤	座間フェア準備、英会話など
	12月15日（金） ・16日（土）	研修⑥ 在日米陸軍軍楽隊 クリスマスコンサート	英語と日本語での会場アナウンスなど
令和6年度	1月7日（日）	研修⑦	座間フェアの一部をキャンプ座間ボランティアに模擬発表、 キャンプ座間ボランティアとの英会話など
	2月11日（日）	研修⑧	座間フェアの一部をキャンプ座間ボランティアに模擬発表、 キャンプ座間ボランティアとの英会話など
	2月18日（日）	PR活動等	国際交流フェスティバルの運営サポート、 国際親善大使についての発表
	3月17日（日）	研修⑨	異文化模擬体験など
	4月14日（日）	研修⑩	座間フェア準備、英会話、派遣に係る説明会
	5月3日（金）	研修⑪	キャンプ座間ボランティアへ座間フェア模擬発表 キャンプ座間ボランティアとの英会話
	6月9日（日）	研修⑫	国際親善大使の保護者等へ座間フェア模擬発表、英会話、 渡航前説明会など
	7月7日（日）	研修⑬	アメリカの歴史、マナー研修、英会話など
	7月30日（火） ～8月12日（月）	スマーナ市へ派遣	

※座間フェア・・・スマーナ市の人に、座間市の良い所、大使の特技、日本文化を紹介する催し。

「一生忘れない夏休み」

国際親善大使

1 スマーナについて学んだことや、ホームステイをして学んだこと

一つ目は、必死に伝えようとする大切さです。英語が苦手でも、堂々と頑張って伝えようとするれば、相手も聞き取ろうとしてくれて、伝わりやすかったです。

二つ目は言葉が通じなくても楽しめることはたくさんあるということです。音楽やスポーツでお互いのことを知ることや、距離を縮める事は出来るということを実感しました。



2 研修や、スマーナ派遣を通して感じた「座間（日本）」の良さ

- ・水道水が飲めること（きれい）
- ・アメリカではトイレのドアの上と下が空いているが、日本ではすべて塞がれている
- ・お風呂にバスタブがある
- ・シャワーの温度、水量の調節が簡単
- ・お店などでの接客態度の良さ

3 座間とスマーナ（日本とアメリカ）の違いや共通点について感じたこと

★違い

- ・家の中が土足である … 最近は家庭に寄りますが、私のホストファミリーの家は土足でした。家の中でも土足だと足が痛くなったり、くつろげなかったりするのでスリッパを持っていきました。
- ・道路、家が広くて大きい … 道路が広くて、車は右側通行でした。運転席も日本と逆で、それに慣れたので、今日本に少し違和感があります。そして家はどの家も広く、大きかったです。
- ・学校の雰囲気 … 日本は制服で登校しますが、アメリカは私服です。さらにアクセサリーをたくさんつけている人もいました。アメリカは学校でも一人ひとりの個性が尊重されているのかな、とも感じました。
- ・レディーファーストの文化 … いつも車や家のドアを開けてくれるだけでなく、自分の荷物を持ってくれました。これは私も日本で実践したいと感じました。レディーファーストではなく、細かい気遣いをみんなにしていきたいです。

★共通点

- ・周りの人が温かい声をかけてくれる … ホストファミリーやアメリカの大人の方は私たちが困っていたら声をかけてくれたり、日本人の随行員に知らせてくれたりしていました。
- ・ドレスコードなどの場面に応じた身だしなみがしっかりしている … 国際親善大使の活動でのパーティーでは、アメリカの子もシャツやワンピースでした。

4 見学や体験をしてよかった場所、その理由

野球チームの観戦です。会場には無料で物がもらえたり、自分のバブルヘッドを作れる場所がありました。そこで、スマーナの生徒たちと一緒に遊んだり、親睦をかなり深められたので一番印象に残っています。

5 次の国際親善大使へのメッセージ

1の質問にも書いた通り、現地では堂々と自信を持って話すこと、全力で楽しむことが大切だと思います。英語で話す際、自信がなくて小さな声で話してしまうと伝わりにくかったり、日本に帰国したときに、もう少し堂々と話しておけばよかったと後悔したりしてしまいます。まず、渡米の前に英語をしっかりと学習して自信をつけるのも大切ですが、上手く話せなくても伝えようという気持ちをしっかりもって、必死に伝える事が一番大切だと思います。それと、アメリカに行くことに不安がある人もいます。ですが、その時ずっと不安なまま滞在しているよりも、ポジティブにとらえてこれから全力で楽しもうと気持ちを変えた方が絶対に楽しめます。



「 派遣を終えて 」

国際親善大使

1 スマーナについて学んだことや、ホームステイをして学んだこと

僕はスマーナ市へ行っていろんなことを学び、知りました。

例えば、サムデイビスホームでスマーナの歴史を学んだり、座間と変わらず消防署や市役所があったり、野生動物が多かったり、ホストスチューデントの家と自分の家の生活のリズムはあまり大きく変わらなかったことなどたくさんを知りました。

ただ座間市や日本と違い、スマーナはあまり建物が密集していませんでした。玄関がないので家の中では靴を履いています（自分は靴を脱いで靴下でいた）。入浴はシャワーだけだったり、自分は夜にシャワーを浴びたけれど、ホストスチューデントは朝だったり、朝食は食べないこともあったり、食べるときはマフィンやお菓子のようなものだったことが、自分の家とホストファミリーの家の違いだと思いました。



2 研修や、スマーナ派遣を通して感じた「座間（日本）」の良さ

日本はアメリカと違い安全に水が飲める、危ない人が少ない、などという良さがあると思います。

スマーナでは一回怖い人に会いました。大きい人で、夜なのにサングラスをかけていて、こっちを見ていてとても怖かったです。他にも日本の方が娯楽（温泉、クレーンゲームなど）が多かったり、学校では日本の方が移動が少なくて楽だったりしました。そして、アメリカのスーパーは何種類もの商品が売っていたが一つの商品に対する数量はそんなに売ってなかった（魚など）です。

3 座間とスマーナ（日本とアメリカ）の違いや共通点について感じたこと

違い：日本とアメリカにはたくさんの違いがありました。それは、言語（英語）や家の構造（玄関がない）、食べるもの（主食がパンやポテト）、宗教（キリスト教の教会が多い）、人の明るさ（日本の人は静かな人の方が多いけど、アメリカの人はみんな明るい。通り過ぎただけでも挨拶してくれた）などです。

共通点：アメリカにも日本にも「海外の人」が生活していたり、座間もスマーナも意外と人が多かったり、自然が多いこと、そして意外と何でもありました。例えばショッピングモールや食べ物屋さんなどです。

4 見学や体験をしてよかった場所、その理由

ショッピングモール…いろいろなお土産が買えました。

プール…暑い中、ホストスチューデントと思い切り遊べました。

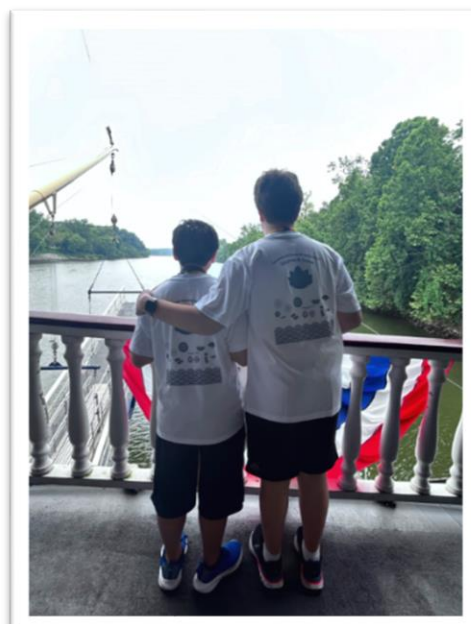
クックアウト…ホストスチューデントと遊べたり、いろいろなものを食べることができました。

サムデイビスホーム…スマーナの歴史を知ることができました。

サウンスゲーム（野球観戦）…アメリカの野球がどんなものが見られて良かったです。日本の野球とどう違うのかが知ることができました。

5 次の国際親善大使へのメッセージ

月に1回の研修や座間フェアの準備など、いろいろ大変なことがあったりしましたが、大使になる前は大変なことがあるとは思っていませんでした。特に一番大変だったのは課題提出であり、学校の宿題と重なると大使の課題がなかなか進められず、大変でした。課題提出が遅れると、補習があったり、グループの人に迷惑をかけたりすることになるのでしっかりやらなければいけないと思いました。派遣に行った時にはペアの子と話して仲良くなることができました。ペアの子と休日を一緒に過ごしたり、一緒に遊べたりしたことがとても楽しかったです。親善大使を目指す人は、研修で出される課題にしっかり取り組み、座間フェアの練習を頑張ってください。派遣の時にはペアの子と相性がよくてもそうじゃなくても、コミュニケーションが取れるように頑張ってください。ホームステイ先の人にはお世話になるのでしっかり感謝の気持ちを持てる人、活動に前向きに取り組める男の子に大使になってほしいと思うので頑張ってください。



「 コミュニケーションの大切さを知った2週間 」

国際親善大使

1 スマーナについて学んだことや、ホームステイをして学んだこと

私は、コミュニケーションの大事さを学びました。「お腹すいた」「お腹いっぱい」なども正しく伝わらないことがありました。胃もたれしているときにたくさん料理を出されて、自分の状態を英語で説明できず、無理して食べました。結局残してしまい、ちゃんと言葉にして伝えないといけないと思いました。そしてちゃんと伝えられれば楽しさを共有できることも学びました。学校体験の前くらいまでちゃんと話せず、他のペアが話しているのをいいなぁと思って見ていました。学校体験くらいから話せるようになり、サンリオの好きなキャラクターの話などができました。日本に来たら何がしたいかを聞くこともできました。（日本に来たらサンリオピューロランドに行きたいと言っていました。）

スマーナの学校の歴史の授業は自分がやっているところより進んでいだけれど、数学はすごく簡単で授業の進度が違うということがわかりました。



2 研修や、スマーナ派遣を通して感じた「座間（日本）」の良さ

私は、座間は近くに公園があるのがいいと思いました。大きい公園（芹沢公園や谷戸山公園）もあります。また、日本ではいろいろなものが食べられます。そしてすぐ近くにコンビニがあります。アメリカではガソリンスタンドがコンビニ（お水を買ったりする）のようなイメージでした。日本はトイレがきれいだと安全だと思いました。日本は商店街があって、いろいろなお店が並んでいるから一度に買い物ができると感じました。

3 座間とスマーナ（日本とアメリカ）の違いや共通点について感じたこと

違いは食べ物では、大きさ、量が多いと思いました。アメリカのトイレはドアにすき間があったり、ドアの上と下が大きくあいていたりしてびっくりしました。車道にあまり自転車が走ってなくて、街中でも全然自転車を見ませんでした。どこに行くのも車移動でした。お風呂にシャンプーが置いてなかったことも驚きました。（ペアの子の髪型がブレードだったから？）住宅地にバスケットゴールなど外にいろいろ置いてありました。全体的に物価が高かったです。水のペットボトルが400円くらいするのでびっくりしました。

共通点は、学校でしっかり授業を静かに受けることでした。意外と早起きなのも同じだと思いました。（もっと起きるのが遅いイメージがありました。）

4 見学や体験をしてよかった場所、その理由

チャタヌーガ水族館では日本ではない動物がいました。魚が好きだから楽しかったです。水槽が大きくてカワウソが近くに来てくれて見やすかったです。説明も細かく書かれていたのもよかったです。



Musicians Hall of Fame Museum では知らない楽器がたくさんありました。ガイドさんがついてくれて、説明がわかりやすかったです。

サウンスゲームの球場では日本と違って卓球ができるところがあったり、タトゥーシールをみんなで付けたり、日本とは違うことができて楽しかったです。色々楽しめるところがあるのがよかったです。

プールパーティーではウォータースライダーが面白かったです。飛び込む感じのスライダー（短くて高いところから落ちる）も日本にはなく、プールが深くて沈みかけたけど面白かったです。

随行員のホストファミリーのファームでのクックアウトの時にはみんなでバレーボールをして、ペアの子ともたくさん話せて仲良くなれたことがよかったです。

5 次の国際親善大使へのメッセージ

私が大使に任命されたのが小6だったので、座間パズルの英文に知らない単語や読めない単語がたくさんあって、暗記するのが大変でした。研修は楽しかったので、大変だと感じることはあまりなかったです。派遣の時は最初の頃はしゃべれないし、相手の言っていることが聞き取れなくてつらかったけれど、だんだん耳が慣れて聞き取れるようになって、楽しく会話ができるようになりました。会話ができるようになった後半は楽しく過ごすことができました。

ある程度会話の練習はしていった方がいいけれど、それよりも伝えようと頑張ることが大事だと思います。自分は座間パズルでしか座間のことを話せなかったから、次の親善大使の人はホストファミリーとの会話でも座間のことをしっかり伝えられるように頑張してほしいです。ホストファミリーは最初からとても温かく迎えてくれて、2週間親切にしてくれたので別れるのが寂しかったです。そういうことに対してちゃんと「ありがとう」と思える人に大使になってほしいと思います。



「 実際にスマーナに行ってみて。 」

国際親善大使

1 スマーナについて学んだことや、ホームステイをして学んだこと

私は実際にスマーナに行ってみて、現地の文化を学びました。スマーナ市やテネシー州はもともとカントリーミュージックが有名で、お土産や観光地では、音楽に関するものが多くあったのを覚えています。休日にテネシー州内の遊園地に行ったときもカントリーミュージシャンのライブをやっていて、本当に文化を大切にしているのだなと感じました。また、事前に思い描いていたアメリカや海外の家とは違うことにも気づきました。これは私の経験だけでの話ですが、みんなフレンドリーでお店の人などにも気軽に話せる雰囲気でした。ホストファミリーの中学校は私の中学校よりも設備が新しく、とても過ごしやすかったです。そして1番驚いたのは、家の中では靴を脱いでいるのです。これも私のホストファミリーの過ごし方なので、他の人がどうなのかはわかりませんが、家に帰ったら、基本的には靴下で過ごしていました。私は海外の方は家の中で靴は履いているものだと思っていたので特に驚きました。この派遣では、自分が思っていることとは違う文化もあるのだなと学びました。



2 研修や、スマーナ派遣を通して感じた「座間（日本）」の良さ

日本はどんな場所でも安心して過ごせると思います。まず治安がいいから、ずっとスリなどに気を付けなくていいです。また、水回りも気を使うことがないなと改めて思いました。特に座間には地下水があるので水道水も安心して飲めていいなと気づきました。その他にも、日本の一般的なお風呂はシャワーが動かせるし、アメリカのお風呂よりも広いので、どんな人でも使いやすいように工夫されていて、もっと世界に広まってほしいと感じました。

3 座間とスマーナ（日本とアメリカ）の違いや共通点について感じたこと

共通点としては、まずは日産など、産業の発展の仕方が似ているなと思います。スマーナには工場も多いし、逆に日本にはアメリカのものも多いです。特に、ハンバーガーやピザが主食になるところなど、食の場面では似ているところが多いと思います。違いとして特に感じたのは、生活の仕方です。まず道や建物が大きいです。ホストファミリーの住宅も広いし、どこの建物も冷房がすごく効いていました。家の空調を一か所で管理しているのも驚きました。その点、日本の一般的な家は、使う部屋の分だけエアコンをつけているので節電にもなっているなと思います。そのほかにも、ホストファミリーの中学校は私服登校で、髪の色や結び方も自由だったので、日本はルールが厳しいなと感じました。

4 見学や体験をしてよかった場所、その理由

National Museum of American Music(国立アフリカ系アメリカ人音楽博物館)や Musicians Hall of Fame Museum (ミュージシャン殿堂博物館)はテネシー州の有名なカントリーミュージックを肌で感じられます。「博物館」ですが、体験型なのでそこに興味も湧きました。また、思い描いていたことよりもずっと深い歴史があったから、絶対に行ってよかったと思います。日産の工場も、座間とのつながりがわかったし、隅々まで見学できて勉強になりました。

5 次の国際親善大使へのメッセージ

このプログラムは、毎月研修があったりして大変ですが、しっかり準備をしていけば絶対にいい経験になります。関わってくれる方々は親切な人たちばかりだし、大使でないとできない体験もたくさんあります。なにより、将来の励みになると思います。そのためにも、まずはしっかりと英語でコミュニケーションをとる力をつけ、周りの人と協力しながら積極的に活動してください！



「 親善大使になって 」

国際親善大使



1 スマーナについて学んだことや、ホームステイをして学んだこと

スマーナはたくさんの歴史が詰まってて、それを大事にしているんだなと思いました。

またホームステイを通して学んだことは自分の伝えたい事をしっかり伝えることです。生活をしていく上で自分が思ってる事を伝えないとホストファミリーの人とちゃんとコミュニケーションがとれないので自分が思ってることを伝えるのが大事だなと思いました。

2 研修や、スマーナ派遣を通して感じた「座間（日本）」の良さ

ザマフェアを通して、座間の神社やお寺、ひまわり祭りなどの座間のことをたくさん知れました。派遣を通して感じた事は座間の方が自然が多かったことです。

後、スマーナは車で出ないとお店がないけど、座間は色んなところにお店があるのでいいなと思いました。

3 座間とスマーナ（日本とアメリカ）の違いや共通点について感じたこと

共通点は人がとても優しいというところです。

スマーナの人も座間の人もとても優しくてそこが共通点だと思いました。

違いを感じたところは沢山ありました。

アメリカでは現金より、クレジットカードを使うことが多かったり、家の中が土足だったり、文化の違いを感じる事が多かったです。

4 見学や体験をしてよかった場所、その理由

・1 番最初にホストスチューデントの人と食べる昼食

他のペアの子とも一緒に食べられるので、コミュニケーションが取りやすかったです。なので、そこで仲良くなるきっかけを掴めました。

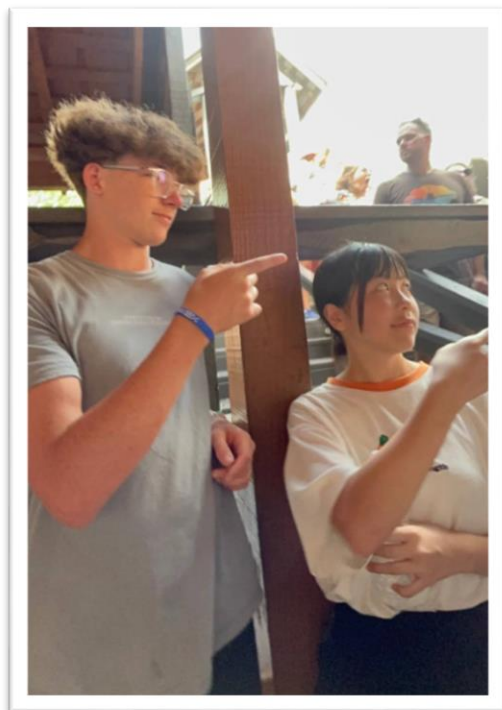
・水族館などの個人移動がゆっくりできる場所

団体での行動じゃないので、ゆっくりペアの子と回れるし、他のペアの子とも回れるから、大使同士で、英語を確認しながらちゃんとペアの子と会話ができたらよかったです。

5 次の国際親善大使へのメッセージ

この活動を通して、私は国際親善大使になってよかったなと思います。なぜならすごく貴重な体験ができるからです。私たち国際親善大使はアメリカにいる間、学校見学や市役所見学に行きました。それはただ旅行に行くだけではできない経験だと思います。

そして、私がこの経験を通して大事だなと感じたことは、コミュニケーションを取ろうとすることです。英語がわからなくても、伝えようしたり、相手が言ってることを理解しようとする気持ちがすごく大事だと思います。そうすることで、相手とのコミュニケーションも取れるし、とてもいい経験になるなと思いました。



「 In Smyrna 」

国際親善大使

1 スマーナについて学んだことや、ホームステイをして学んだこと

スマーナは自然が豊かで家がどこもすごく大きくて庭もあって敷地がとても広がったです。それにバスケットゴールがほとんどの家にありました。他にも周りに建物とビルなどの明るい建物があまりないから夜の星がものすごく綺麗でした。

ホームステイをしてみて、言語が違うから何かしたいときに全然伝わらないし何か言われても最初は全然理解できなかったけどそれでもあきらめないで伝えたいって気持ちを強く持って過ごしていたら、日に日にコミュニケーションが沢山取れるようになっていきました。この派遣を通してメンタル面や人とのコミュニケーションのとり方、アメリカと日本の文化の違いを学びました。



2 研修や、スマーナ派遣を通して感じた「座間（日本）」の良さ

まず食べ物の美味しさです。アメリカの食べ物は美味しいものももちろんあるけどとにかく油っこかったのと味がすごく濃いか薄いかの2択でした。日本はヘルシーなのに味も美味しくてほんとに最高だなと改めて思いました。それと水です。水道水が飲めなくてペットボトルを買って飲むしか無かったです。それに座間の水は癖が全然無くて美味しいなと帰って来てから凄く感じました。

他にも清潔感が日本はズバ抜けてあると感じます。アメリカのお店に行ったときあまり清潔感がないと感じました。やっぱり日本は衛生面が優れていると改めて思いました。

3 座間とスマーナ（日本とアメリカ）の違いや共通点について感じたこと

自然が豊かなところと静かなところに一番共通点を感じました。他にも人の優しいところとか素敵なお店がたくさんありました。

違いはたくさんあって、まず交通面では車社会で日本とは違って自転車はあまり見ませんでした。すごく近くのとこに行くのにも歩かず車に乗っていました。それと右側通行で運転席も左側にありました。日本の感覚が抜けていないまま左側を歩いていたら、すぐ人にぶつかりそうになってしまいました。

他にも生活面では朝にシャワーを浴びていたり、夜寝るのがすごく早かったです。

あとドアの鍵のかける方向が日本と逆で閉まっていると思ったら空いていたりすることがありました。

人のフレンドリーさがアメリカはすごくよかったです。ちょっと話ただけで距離がすごく近かったり、知らない人とも笑い合っていたり、何より目が合ったらニコって笑ってくれてすごくうれしかったのを覚えています。

4 見学や体験をしてよかった場所、その理由

この派遣で、普通の旅行では体験できない学校を体験出来たり、普通は入る事が出来ない部屋にも入れたり、どこに行っても歓迎されてお土産をもらえたりと、親善大使になってでしか体験できないような貴重な体験が出来ました。

一番貴重な経験をできたのは学校見学で、最初は怖くてすごく緊張したし、みんな大きくて逃げ出したかったけど、授業中に話しかけてくれたり、インスタを交換してコミュニケーションが取れて二日目は一日目より昨日会った人とも沢山話せるようになったり日本に帰ってきてからも連絡を取り合えるような友達を作ることができました。何より、現地の学校に行って普通の旅行では味わえないものをたくさん観ることができました。

5 次の国際親善大使へのメッセージ

派遣の前まで座間フェアの練習とかめんどくさいと思うと思うけど、その頑張ってきたことが派遣中やってきてよかったなーって本気で思えるから頑張ってね。

あと部活とかとの両立で悩むかもしれないけど親善大使っていう責任感をもって優先順位をしっかりつけて覚悟を持って臨むほうがいいと思います。

派遣中は大変なこともあると思うけどもう一生ないことだと思えば、楽しんだもん勝ちだと思うから精一杯楽しんできてください！



「 大切な時間 」

国際親善大使

1 スマーナについて学んだことや、ホームステイをして学んだこと

スマーナ市は都市であるナッシュビルから少しはずれた所にあり、自然が多く、落ち着いたふんいきがある場所でした。

スマーナハイスクールにはマスコットキャラクターであるブルドックの銅像や、マークがたくさん学校に置いてあり、愛されているそうです。

ホームステイでは、話すことも大切ですが、聞くことが特に大事だと思いました。聞くことができないと会話のキャッチボールができないので、今回で少しでもできるようになったと思います。

チャレンジすることも大切でした。土日はホストファミリーによってはそこだけで過ごすこともあるので一人でどれだけできるのかチャレンジすることができたので、とても良い経験ができました。



2 研修や、スマーナ派遣を通して感じた「座間（日本）」の良さ

アメリカ（スマーナ）は一つ一つの建物が大きく広々としていました。

それに比べて日本（座間）はぎゅっと詰まっている印象があります。

そのため、家と家、学校と学校などが近くて、人が密集しています。

しかし、私はそれをととても良いと感じています。

例えば、学校同士が近いと部活動で交流が増え、お互いの能力アップへと繋がります。「近い」「小さい」も悪いことはないと思います。

3 座間とスマーナ（日本とアメリカ）の違いや共通点について感じたこと

座間市とスマーナ市は共通点がたくさんありました。近くに大きな市があるけれどそこから少しはずれただけで、おちつきのある少ししずかな所になるのは特に似ているなと思いました。

違った点としては、キッチンがとっても日本より大きくて、「どこになにがしまっているよ。」と教えてもらったのですが、まったく覚えることができませんでした。

4 見学や体験をしてよかった場所、その理由

私は学校体験が一番できてよかったです。

始めは不安の方が勝っていましたが、日本と違う点が多く、「なんでここは〇〇なの？」と聞きながら楽しんでいました。机といすがくっついていたり、座る席が自由席だったり日本と違いすぎました。先生によって授業のやり方が違うので、お気に入りの先生などもいるそうです。

5 次の国際親善大使へのメッセージ

はじめは不安だったり、心配だったりして、「どうしよう。」となるかもしれません。

私もドキドキで少し不安でした。ですが、スマーナに行ったら「がんばれる」と思うことができました。ホストファミリーの方やむこう側の役員さんがとても親切で優しくしてくれたからです。

大切なのは、自分の思いを相手に伝える事とチャレンジしようとする事。

アメリカに行くまでに1年間研修をするので、あとは自信をもって行動するのみ。

緊張をするのは行くまでと慣れるまでの数日だけだと思います。

一緒にがんばってきた仲間もいるので、一人ではなくて、みんなだと考えると良いと思います。楽しんでください。



「文化や言葉の壁を越えて得たもの」

国際親善大使

1 スマーナについて学んだことや、ホームステイをして学んだこと

スマーナで生活する中で身近に「座間」があったのは意外だった。ザマパークや、人々が交流する施設にいたざまりんのぬいぐるみ。随所に座間へのリスペクトが感じられ、それが、お互いの信頼関係を構築しているのだろう。ホームステイでは、改めて人とのコミュニケーションの取り方について考えさせられた。自分が知っている限られた語彙の中で相手と意思疎通を図る訳だが、コミュニケーションが単純化したことで、よりストレートに言葉は伝わった。言葉の壁が仲を深めるきっかけになったのである。大切なのはお互いのことを知ろうと歩み寄ることだと学んだ。



2 研修や、スマーナ派遣を通して感じた「座間（日本）」の良さ

スマーナ派遣を通して、日本にある“型”のようなものの存在を強く実感した。伝統やマナー、相手への礼儀などが挙げられる。それがあすることで物事はよりスムーズに進み安定したものになる。当たり前のように日常に溶け込んでいたので、アメリカでは日本の安定さを感じる事となった。また、伝統や文化が確立していてインパクトがある所も日本の良さだと思う。

3 座間とスマーナ（日本とアメリカ）の違いや共通点について感じたこと

日本とアメリカは物事に対する考え方に大きな差があった。

まず、日本は昔ながらのやり方に重きを置いていて、テクノロジーに頼るということに消極的な傾向があるように感じる。外国では一般的な「無痛分娩」が日本では少数派なことも、ひとつの例ではないだろうか。

一方、アメリカは“心の余裕の確保”に重きを置いていて、物事の効率化に積極的だと感じた。このような文化の違いからコミュニケーションや食生活、人間性にまでも影響を及ぼしているのだろう。しかし、アメリカも日本も、行動は違えど人々の心に温かみがあることは共通していた。文化は違えど両者が似ていると感じることも多かったのである。

4 見学や体験をしてよかった場所、その理由

私が体験して良かったと思った場所は学校体験だ。学校体験では自分からアクションを起こしていく必要があった。あちらから話しかけてくれる事もあるが、自分の力だけでコミュニケーションを取らなければならない。また、生徒達のやり取りや授業の様子を観察し、文化的側面から分析するのは自分の中でも大きな学びになった。

5 次の国際親善大使へのメッセージ

国際親善大使を志す目的を明確にして欲しい。

例え、親に勧められたことがきっかけだとしても、任命されたからには責任を持って取り組むことが求められる。毎月の課題は大変なものも多いが、目的を明確にすることで、研修から全体の活動まで、有意義なものになるだろう。

自信を持って飛び出せば、思いもよらない感動や発見が待っている。その経験は、きっと成長に大きく役立つだろう。



「スマーナで学んだこと」

国際親善大使

1 スマーナについて学んだことや、ホームステイをして学んだこと

このホームステイを通して学んだことは、伝えようとすることの大切さです。

ホームステイ期間中、伝えたいことが伝わらなかったことが何度もありました。言葉が上手く伝わらなくても知っている単語をつなげて話したり、身ぶり手ぶりなどをつけて伝えようと努力する姿勢が重要なのだと学びました。



2 研修や、スマーナ派遣を通して感じた「座間（日本）」の良さ

私は、日本食はとてもおいしいと改めて感じました。

スマーナでの食生活は毎日お肉を食べて野菜はあまり食べなかったり、味の濃いものを食べていました。日本食はアメリカに比べて味がうすいので、帰ってきた後に飲んだ日本のみそ汁はとてもおいしかったです。

3 座間とスマーナ（日本とアメリカ）の違いや共通点について感じたこと

アメリカはレディーファーストの文化が浸透していると感じました。

私が席に座るときにペアの男の子が椅子を引いてくれたり、とびらを開けてくれて、とても紳士だと感じました。

座間とスマーナの共通点は温厚で優しい方がたくさんいるところです。

スマーナの人達は私たちを温かく迎えてくれ、優しさで溢れていたと私は感じました。

また、スマーナの人達は友好的でオープンな方が多かったので日本とまた違う優しさを感じられました。

4 見学や体験をしてよかった場所、その理由

一番よかった場所は学校です。

学校では授業も、友だちと話すのもすべて英語で、英語がわからなくてもすべて自分で解決しないといけなかったからです。内容が理解できなかったり、上手く伝わらなかったりした時もあったけれど、伝える努力をすることが大切だと思いました。

5 次の国際親善大使へのメッセージ

国際親善大使と聞いて少し重荷を感じるかもしれませんが、研修ではさまざまなことを学ぶことができ、2週間のホームステイでは日本では体験できないことをたくさんすることができます。

この経験は一生の宝物になると思います。

ぜひ勇気を出して挑戦して欲しいです。



「 ホームステイで学んだこと 」

国際親善大使

1 スマーナについて学んだことや、ホームステイをして学んだこと



◎スマーナについて学んだこと

・日本食のレストランやアジア雑貨店、世界各国の食べ物が売っているお店などがたくさんあり、意外とアジア文化が認知されているなと感じました。

◎ホームステイをして学んだこと

・キリスト教を多くの人が信仰していて、寝る前やご飯を食べる前に聖書の一部を読んだりしていた。また、聖書について友人と勉強する会なども開かれていました。

・アメリカの高校では日本の学校と違って教室を先生ではなく生徒が移動して、自分の受けた授業を受けていました。人がとても多くて、休み時間は廊下がとても混雑していました。また、スクールバスが家の近くまで来てくれて、学校まで行ってくれるので、安全だし、利便性が高いと感じました。

2 研修や、スマーナ派遣を通して感じた「座間（日本）」の良さ

- ・空港などのトイレが、アメリカに比べるととてもきれい！
- ・アメリカの服屋さんでは洋服が地面にたくさん落ちていたりしていたけど、日本ではきれいに並べられているのがすごいと思いました。
- ・アメリカではカロリーが高い食べ物をたくさん食べることが多かったけど、日本ではヘルシーなものが多いので日本のご飯が好きです。
- ・スマーナは広いため、学校に行くのに結構時間がかかりました。徒歩ですぐ学校に行けるのはいいことだと改めて思いました。

3 座間とスマーナ（日本とアメリカ）の違いや共通点について感じたこと

- ・日本の人は知らない人とはあまり関わらないイメージだけど、アメリカの人はフレンドリーでとてもフラットに話しかけてくれて違いを感じました。
- ・日本では特定の宗教を信仰している人はあまりいないと思いますが、アメリカの方々は多くがキリスト教を信仰していて、考え方や教育方針がそれを元に行っていることが多かったです。宗教観の違いに驚きました。
- ・アメリカでは、日本食が食べられるお店がありました。すこし違いはありますが、寿司やラーメンのお店があったりしました。私がホームステイをした家ではお米が常備されておりよく食べているとっていました。醤油などの日本独特の調味料もあり、日本の食べ物がアメリカでも人気なのを知ることができました。

4 見学や体験をしてよかった場所、その理由

私はテネシー水族館が1番印象に残っています。もともと私自身が水族館に興味があったのもありますが、日本の水族館に似ているようで少し違う工夫が多くされていたというのが一番の理由です。日本に生息する生物とアメリカに生息する生物は違うので、日本の水族館では見ることのできないような生き物をたくさん見ることができてとても良かったです。蝶がたくさんいるところとかがすごく珍しくて興味深かったです。

5 次の国際親善大使へのメッセージ

アメリカはほんとに日本と全然違うことがいっぱいあって何が何だかってなっちゃうので、事前に特に学びたいこととかを考えておいておくといいと思います！

また、向こうは乾いたキッチンペーパーみたいなものしか出てこないの自分でウェットティッシュを持っていくことをお勧めします。

向こうで日本料理を振る舞うときはお寿司がとても喜ばれます。向こうのスーパーにも一応寿司という名前の付いたものがありますが、日本のそれとはちょっと違うので私のホストファミリーの人たちは本場のものが食べたいと言っていました。



「 国際親善大使を通して 」

国際親善大使

1 スマーナについて学んだことや、ホームステイをして学んだこと

スマーナについて学んだことは、スマーナの人たちの心の温かさです。僕たちのために、プランを考えてくれたり予約をしてくれたり、たくさんのことをしていただきました。僕がこのことから学び、感じたことは、もっとこの人たちとコミュニケーションが取りたいということです。そのために、英語を勉強したいということを思いました。

また、ホームステイの中で言葉の大切さを学ばせてもらいました。ホームステイの中でこれがしたい、これが得意ではないと言うと積極的に取り入れてくれたり、なくしてくれたり、たとえ、下手な英語でもしっかり言葉を伝えることの大切さを学びました。



2 研修や、スマーナ派遣を通して感じた「座間（日本）」の良さ

座間の交通の便の良さを感じました。たとえば座間から海に行くのに 1 時間程で着けます。ですが、アメリカの多くの場所では、海に行く場合多くの時間がかかります。このように座間のよさは、海、山、都会など多くの場所にすぐ行ける、交通の便の良さだと思います。

日本のよさを感じたことは歴史です。アメリカの歴史は 250 年程です。ですが、日本は 2700 年という歴史があり世界最古の国です。アメリカに行き改めて歴史の長さがわかりました。また、何百年前のお城やお墓が残っていることはすごいことなんだなと感じました。

3 座間とスマーナ（日本とアメリカ）の違いや共通点について感じたこと

僕たちは座間パークという所を訪れました。この場所から、これだけ離れていてもつながっているということを感じました。

アメリカと日本について一番違いを感じたことは、食生活です。アメリカはファストフードが多く、野菜を食べない食生活でした。アメリカに来たのだからアメリカっぽいものを食べさせてあげようという考えもあったかもしれませんが 2 週間に 6 回もハンバーガーを食べました。ですが、どれも違った美味しさで全然あきませんでした。

アメリカの人でも日本の人と同じで、もしくはそれ以上で、おもてなし精神がすごくありました。僕のためにバスケットボールを買ってくれたり、服をくれたり、たくさんのことをしていただきました。

4 見学や体験をしてよかった場所、その理由

1 日目のブロードウェイ散策が一番印象に残っています。1 日目で、アメリカにきたという実感がもて、看板や道を見てどれも笑語でどこを見ても楽しかったのを覚えています。また、ナッシュビルの街はとても色彩やかで、ユニバに行っているようで、しかもどこからでも音楽が聞こえてくるという、日本ではない音楽の街ということを実感できる素晴らしい経験でした。

他にも現地の人たちなどと10人くらいでしたバスケやプールがとても楽しかったです。遊ぶ中で、言語が伝わらなくても、一緒に楽しんだことが言語の壁を越えられた瞬間だと思いました。

5 次の国際親善大使へのメッセージ

このプロジェクトに応募する、また、アメリカに行くことは、とても勇気のいることだと思います。ですが、アメリカから帰ってきた大使の中で「もう行きたくない」などマイナスなことを言った大使は一人もいません。最初は、ホストファミリーとなじめなかったり、食生活が合わなかったり、たくさんの壁がありました。

でも最後には口を揃えて「また行きたい」「もっと長くいたかった」と言います。

このように最後には絶対笑って終われる最高のプロジェクトをやらない選択肢はないと思います。なので悩んでいる人たちは自信を持って一歩ふみだしてみてください。



「 私の体験談 」

国際親善大使

1 スマーナについて学んだことや、ホームステイをして学んだこと

(1) スマーナについて学んだこと

テネシー州はいろんな州に隣接している為、海とは無縁ですが自然豊かな州であることを学びました。

実際に休日にピジョン フォージという、休暇スポットとして人気のある町に行った際にグレートスモーキー山脈を見ることができ、後に調べてみると日本の本州にも匹敵する面積の巨大な山脈の一部であることを知り実感しました。



出会った人全員がとても温かく、遠く離れた国から訪れている私を優しく歓迎してくれました。

ホストファミリーの親族や友人が私に会いたいと言って下さり短期間でたくさんの方にお会いする機会を与えてくれました。その時にみんなアメリカはどう？楽しんでくれていると良いな。今までで印象に残っているプログラムはなんだった？などフレンドリーに接してくれて、凄く嬉しかったです。ホストファミリーの身近な方だけでなく、お店でお会計をしてくださった店員さんもアメリカらしく雑談があったり、Have a nice day と言ってくださったりして良い気持ちでお買い物することが出来ました。

アメリカは移民が多い国の一つで有名なので様々な人が暮らしているのがごく普通で当たり前のことだというのは分かっていたけど、ヒスパニック系の方がスマーナには多く住んでいるということを知れました。ティラーファームズという施設に訪れた際、従業員の方用の案内板は英語と他の言語の両方で書かれていて不思議に思い、ペアの子に聞いてみるとスペイン語だということが分かりました。更に、ヒスパニック系の方が多く住んでいて英語が上手く話せない人も珍しくはないと言っていました。実際に従業員の方もヒスパニック系の女性が多い印象でしたし、学校体験の際、英語が理解出来ない生徒にスペイン語で通訳してあげている光景も見受けられました。

(2) ホームステイをして学んだこと

・郷に入っては郷に従え

ホームステイをした後に学んだ事ではないですが、これを大切にして初日から過ごしました。渡米前は短期間で仲良く出来るのかやホームステイでの心配事などたくさんありましたが、今振り返ると、すぐに距離が縮まって家族のように出来たのはそのお陰もあると思います。

・英語の言ってる意味が分からなかった時はすぐにどういう意味？など恥ずかしがらずに聞きました。

または、メモしてネットで調べました。するとこの単語また使っていると徐々に分かるようになってきたので、すぐに聞くなり調べるなりして、理解することの大切さを改めて知りました。

2 研修や、スマーナ派遣を通して感じた「座間（日本）」の良さ

- ・物が転がっていないところ

Target に訪れた時にそこら中に服やおもちゃが散乱していたし、試着室の中に服が置きっぱなしだったしそれが普通という感覚が信じられなかったです。

- ・公共交通機関が充実していて、車がなくても(大人がいなくても)移動が自由に出来ること。
- ・コンビニ、スーパー、ドラッグストアスタッフなど生活用品を買えるお店が徒歩で行けるくらいすぐ近くにあること。
- ・肉、魚、野菜とバランスの良い食事を当たり前のように普段からしていること。

3 座間とスマーナ（日本とアメリカ）の違いや共通点について感じたこと

- ・アメリカは何にしても規模が日本より大きいと感じました。

学校、スーパー、食事の量など

- ・食文化について

スマーナでの2週間、ほとんど魚介類を食べなかったです。普段ファストフードをあまり食べないので、これほど肉肉しい食事をした2週間はとても新鮮でした。どこ行ってもハンバーガーかチキン、サイドには必ずポテトフライという食事でした。フライドピクルスというサイドも定番のようで、私にとっては1つ食べるだけで十分な食べ物でした。そして、ホストファザーに関しては、魚介類が一切食べれないということで鰹節も苦手でした。テネシー州は内陸部に位置しているので先祖から海のことを口にする習慣がないからなのかなと勝手に推測しました。

・もったいないという言葉がないから、食べ切らなかった食べ物を冷蔵庫に保存しないで捨てたり、電気や空調を小まめに消さないこと。(いつもの習慣ではないかもしれないけど、私が滞在していたときは)

- ・日本もアメリカも電気、水、ガスの供給が安定しています。

4 見学や体験をしてよかった場所、その理由

- ・テイラーファームズ

従業員の方がたくさんいて機械で済ませるものもあったのですが、色んな商品が人の手によって加工されているのに衝撃を受けました。しかも新鮮な商品をお客様に届けるため、24時間稼働しているそうです。

- ・日産工場

今まで何回か自動車を製造しているプロセスを見学した事がありますが、ここまで間近で色んな過程を見れたのは初めてでした。これからも座間とスマーナの原点である日産が発展していく事を願っています。

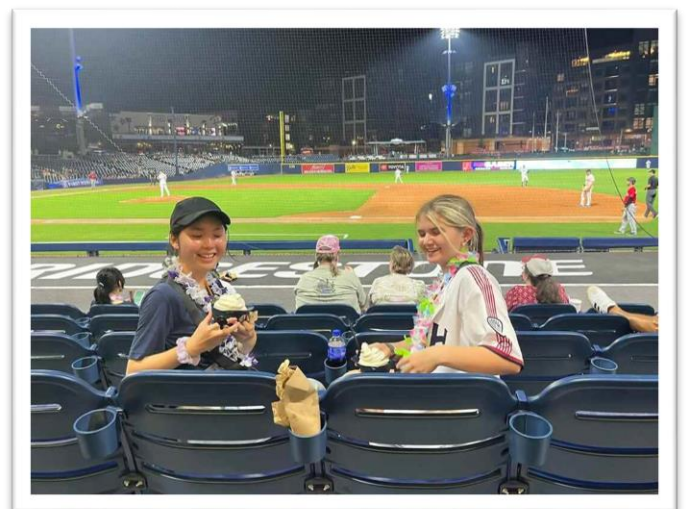
- ・ホストファミリーと行った2泊3日の旅

ウェルカムレセプションの時に旅行に行くことを教えてくれて、とても楽しみにしていました。宿泊中はもちろん、車での長時間の移動中も私にアメリカについて教えてくれたり、音楽を聴いたり、ホストファミリーとたくさん話してとても充実していました。森林に囲まれている木でできた

綺麗なコテージに泊まり、大きな遊園地に行って 1 日中遊んでとても楽しい休日でした。

5 次の国際親善大使へのメッセージ

- 飛行機の出発が大幅に遅れたトラブルが多発したので、予定通りにいかないこともあります。また、長時間の移動も多いです。なので心の準備と時間を有効に使うことが出来るツールを事前に用意しておくことが大切だと思います。
- 現地の食べ物が合わない場合があるのでプロテインバーのような物があると安心だと思います。
- 空調文化が日本とは違い、セントラル空調なので冷房がとても効いています。私は寒がりなのでどこ行っても寒いし、朝も寒いので苦労したので上着が必須でした。
- 食べ物、飲み物、服、全て日本より高いように感じました。お金の準備はしっかりしたほうが良いです。
- テネシー州を初めて訪れる人がほとんどだと思うので、見るもの体験するもの全てを楽しんでほしいと思います。誰もが体験することが出来ない貴重な大切な思い出を忘れないように、日記をつけたり写真を撮ることも大切です。
- 英語が分からなかったらすぐに解決することで得られるものも多いと思います。また、自分の力でコミュニケーションを取ることもとても大事だと思います。
- 笑顔で過ごし、色んなことにチャレンジする事を意識すると良いです。
- ホストファミリーに自分のことや家族のことを教えてあげることで親しみやすくなると思います。



「 かけがえのない 2 週間の思い出 」

国際親善大使

1 スマーナについて学んだことや、ホームステイをして学んだこと

スマーナについて学んだことは、座間とスマーナは全然違うということです。

スマーナは座間より面積が広いのに対し、人口は座間よりも少ないため、ゆったりとした感覚がありました。また、今まで座間で当たり前のように過ごしていたものとは違うことばかりだったためスマーナの文化や生活様式などを学ぶことができました。

ホームステイをして学んだことは、本当の家族のように接してくれることです。

行くまでは言語の違い、食文化の違いに不安を感じていましたが、英語も簡単な英語で話してくれたり、ご飯も美味しくなかったら美味しくないと言ってくれたり、気にすることなく生活することができました。また、シャンプーや歯ブラシなど何もかも準備しておいてくれて、休みたいときは休んでいいよと言ってくれて、自分の家のようにリラックスしてお家で過ごすことができました。



2 研修や、スマーナ派遣を通して感じた「座間（日本）」の良さ

研修で座間フェアのために様々な座間の場所を巡り、知らなかった場所を知ることができて、座間は自然が沢山で良いところだなと感じました。

スマーナ派遣を通して、スマーナは基本車での行動であるため、歩道もなく、歩いている人が一人もいない印象でした。一方で、座間は歩道もあるため人が歩いているし、車やバスが走っているためにぎやかで良いなと感じました。

3 座間とスマーナ（日本とアメリカ）の違いや共通点について感じたこと

○違い

家と家の感覚が広いなと感じました。どこまでが自分のお家なのかわからないくらい広く、車の台数が 1 家族 4 台～5 台あるのが普通という感じでした。また日本のお家は家にポストが付いていますが、アメリカのお家は少し離れたところに近くのお家とまとまってポストがあり、わざわざ取りに行かないといけないため大変だなと感じました。他にもライフスタイルが日本とアメリカで全然違うなと思いました。

○共通点

私は座間とスマーナ（日本とアメリカ）でほとんど違うなと感じましたが、私が唯一感じた似ている場所は、スマーナは州都であるナッシュビルから車で約 30 分の位置にあり、座間も県庁所在

地である横浜から電車で約 30 分の位置にあり、位置関係が座間とスマーナで似ているなと思いました。また、座間もスマーナも自然がいっぱいで住宅街が広がっているところも似ていると思いました。

4 見学や体験をしてよかった場所、その理由

スマーナ市役所・消防署見学です。

座間の市役所・消防署に行ったことがあります。座間にある建物とは雰囲気が全然違い、衝撃を受けたからです。

座間の市役所はいつでも人がいるイメージですが、スマーナの市役所は人が少ない印象でした。また、お菓子や果物が沢山置いてあって美味しそうでした。

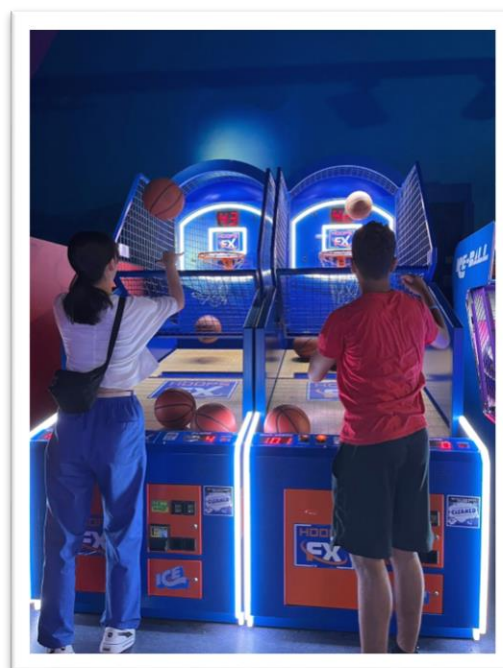
消防署は、家のような室内で消防車が日本のより大きく感じました。消防車の中も広く日本の消防車にあるものと違うものもあり、感動しました。

5 次の国際親善大使へのメッセージ

派遣まで不安な気持ち、楽しい気持ちそれぞれあると思います。

私は行く前不安な気持ちでいっぱい、派遣が近づくにつれ一人でアメリカのお家に行くということもあり、行きたくないと思っていました。ですが、この貴重な体験は限られた人しかできません。この座間市国際親善大使に選ばれた人しかできません。その思いを胸に全力で楽しみつつ、座間市について発信し、スマーナ市について沢山学んでください。

今まで親善大使として活動した先輩全員が応援しています。頑張ってください！



「 新たな世界を広げた旅 」

国際親善大使

1 スマーナについて学んだことや、ホームステイをして学んだこと

私はホストファミリーと過ごす1日でカヤックを体験しました。カヤックはホストファミリーの家の近くの川で体験しましたが、そこにはスマーナの大自然とその大自然を楽しむたくさんの人がいました。たくさんの緑に囲まれた川のいたるところには鶴などの鳥がいたり、またそんな川では釣りやカヤックを楽しむ人がおり、自然を身近に感じられると思いました。また、普段生活する家の庭に鹿がいたり、特別に何かをしなくても自然を感じられる場所だと思いました。また、スマーナにはNISSANを始めとする様々な工場があり、様々な知識と知恵があり、生産の地でもあると思いました。ホームステイをしている際、ホストスチューデントやホストファミリーとのコミュニケーションは必要不可欠でした。そんな中で大使である私自身が発信をやめてしまっただけで終わってしまいます。言語の壁はとても感じました。自分の思っていることを自分で伝えられない悔しさはたくさん感じましたが、どうにかして伝え続ける大切さを学びました。



また、ホストスチューデントのお母さんは黒人差別の過去を私に教えてくれました。2週間、過ごす中で日本以上に個性の多様さを感じました。そんな中で、今現在様々な人間同士が関わり合っているのは、お互いの認め合いがあるからこそなんだと学びました。

2 研修や、スマーナ派遣を通して感じた「座間（日本）」の良さ

まず、至るところで清潔感があることです。とくに、公共の施設は多くの人を使うにも関わらず、清潔感が保たれているのが素晴らしいと思います。次に接客の良さです。しっかりと自分の仕事を真っ当し、一人一人のお客さんを大切に対応できる人が多い日本がすごいと改めて感じました。

また、それと似ていますが、グローバル化に対応し、様々な言語に対応したものが多くあるということが、サービス精神に溢れていて素晴らしいと思います。研修を通して、座間の地域での交流の多さ、座間の暮らしやすさを実感しました。

3 座間とスマーナ（日本とアメリカ）の違いや共通点について感じたこと

とにかく言語の違いや文化の違いはとてもあります。そんな中で、現在までの間、スマーナと座間で交流を続け、文化を交換し続けられていることが、本当にすごいと思いました。座間とスマーナは自然がありつつもお店などでもあり、丁度いい環境であることがとくに近い点だと思います。

また、地域の落ち着いた雰囲気がかつ明るく優しい雰囲気が共通点だと思いました。違いについてはとにかく、ほとんどが違っていました。交通について大きな違いがありました。私達は普段、車に加え、自転車や電車、バスなど様々な交通手段を利用しますが、スマーナ（アメリカ）は車 only

とっていいほど、ほとんどの車のみしか使っていませんでした。また、右側通行であったり、車のスピードが速く、窓をあけると痛いほど風がきたりと身近で日本との違いを常感じていました。

4 見学や体験をしてよかった場所、その理由

ホストファミリーと休日に行ったカヤックです。スマーナの自然を肌で感じられた体験でした。ホストファミリーの家からカヤックのできる場所までは数十分で着き、尋ねたところホストファミリーはカヤックを何度かやったことがあるそうでとてもこぎ慣れていました。私は、カヤックは初めてでしたので最初は全く上手くこげませんでした。また、2人用もありましたが私達は1人用でしたので、より恐怖感は増していましたが、ホストファミリーがとても丁寧にこぎ方を教えてくれたりサポートをしてくれたおかげで、とても楽しむことができました。自然に囲まれながら、ゆっくりこいでホストファミリーと話したり、途中、少し陸側にとまって一緒にお菓子を食べたりもしました。ホストファミリーと過ごす楽しく大切な時間でした。

5 次の国際親善大使へのメッセージ

私はこの文をスマーナからの帰りの飛行機で書いていますが、もうすでにアメリカに戻りたいと思っています。それほど、楽しく貴重な経験をしてきました。一年間の研修を経て2週間の派遣を終えましたが、研修も派遣もどちらも大変なことが次から次へとやってきました。任命当初、大使同士の距離はもちろんありましたが、アメリカに着いた初日の不安はとてつもなかったです。

何かの「はじめ」は不安が大きいです。ですが、自分自身で行動しだし、発信をすればするほど新たな世界が広がり、楽しいことがたくさん舞い込んできます。今は不安な気持ちがあるかもしれませんが、たくさん挑戦をして新たな世界を広げてください。





7/30 (火) 羽田空港～ナッシュビル空港到着



7/31 (水) ナッシュビルツアー、ウェルカムレセプション



国立アフリカ系アメリカ人音楽博物館



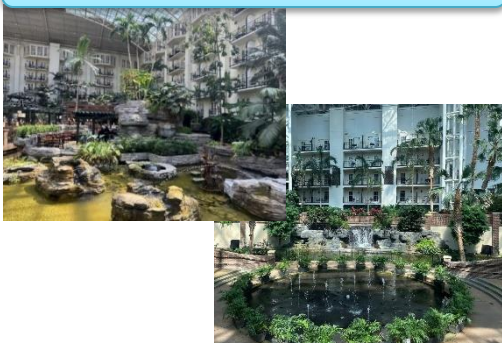
ハードロックカフェでランチ



州立100周年記念公園



オープリーランドホテル屋内植物園





WELCOME RECEPTION

Smyrna/Zama Sister City Program

Smyrna Event Center
July 31, 2024
6:00 P.M.

Opening Remarks...



Vice Chairman, Sister City Committee

Welcome



..... Smyrna Vice Mayor

Letter From Zama Mayor Mito Sato.... Zama, Japan Delegation Leader



Consul-General .



..... Consulate –General of Japan in Nashville

Zama Student Comments.



Smyrna Student Comments.



Introduction of Host Students to Zama City Students



8/1 (木) スマーナ市内ツアー

テイラーファームズ工場見学



サムデビスホーム 南北戦争時に南軍の兵士として参戦したサムデビスの生家



ザマパーク 座間の名前を冠した公園



8/2 (金) チャタヌーガツアー

テネシー水族館



IMAXシアター



8/5（月）ナッシュビルツアー

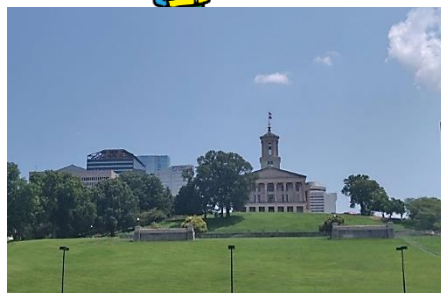
ミュージシャン殿堂博物館



ファーマーズマーケットでランチ

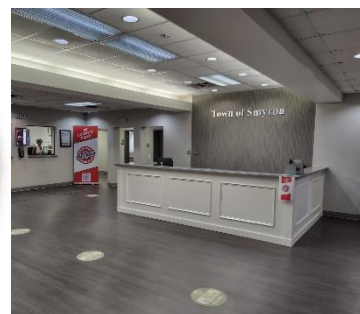
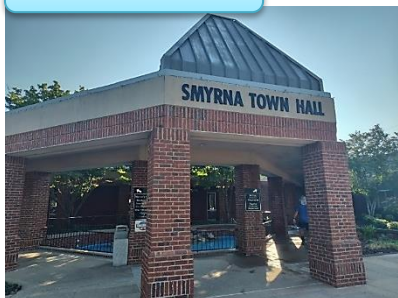


バイセンテニアルモール州立公園



8/6 (火) スマーナ市内ツアー、座間フェア、野球観戦

スマーナ市役所



日産見学



座間フェア



リード市長





消防署

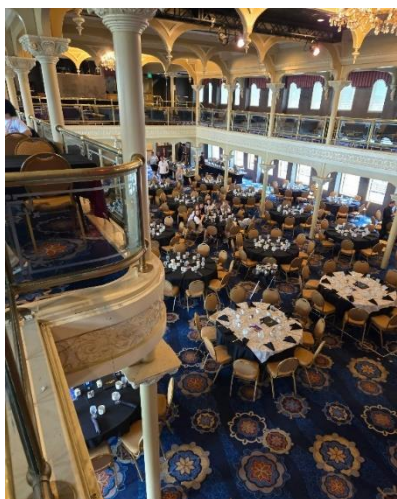
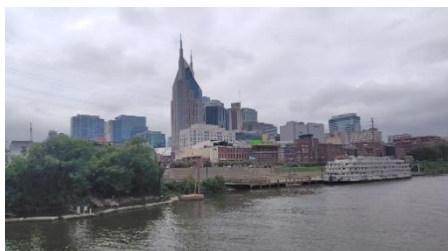


野球観戦



8/7 (水) ナッシュビルツアー

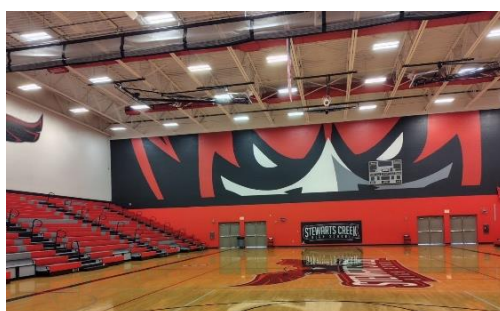
ジェネラルジャクソンクルーズ



オープリーツアー



8/8 (木) 8/9 (金) 学校体験



8/8 (木) SOACプール



8/9 (金) バーベキューパーティー



8/10 (土) ジェフ・クスメモリアル、フェアウェルパーティー

ジェフ・クスメモリアル



Memo

FAREWELL PARTY

Smyrna/Zama Sister City Program

Event Center
August 10, 2024
4P.M.



Opening Remarks . . . Member, Zama Delegation

Light Dinner



Comments . . . Mayor, Town of Smyrna



Comments . . . Vice Chairman, Sister City Committee



Comments . . . Leader, Zama Delegation

Presentation of Gifts



Smyrna Student Comments



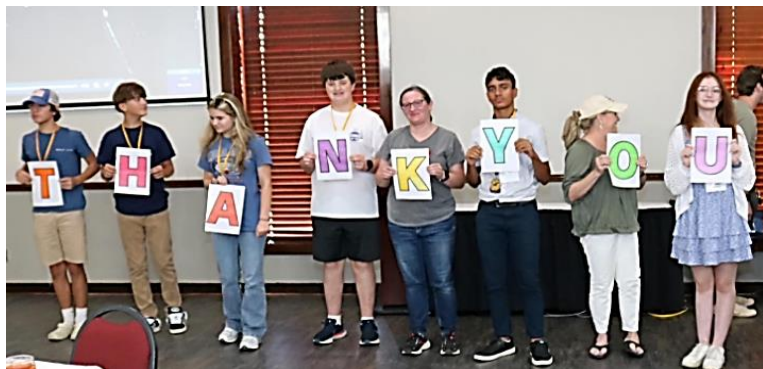
Zama Student Comments

Zama Students Performance

- Card Search Game
- Dance&Song



Closing Remarks . . . Member, Zama Delegation



We will miss you all...



8/11 (日) スマーナ出発 8/12 (月) 帰国



 Friends Forever!



番外編～ホストファミリーに感謝の気持ちを込めて日本食を作りました～





座間市 総合政策部 人権・男女共同参画課

住 所 〒252-8566
座間市緑ヶ丘一丁目1番1号
TEL 046-252-8035